



自然学校で、人と人、人と自然のふれあいを満喫！



5年生は、9月8日から4泊5日をハチ高原で過ごしました。自然学校での直接体験を少し紹介したいと思います。

まず、ハチ高原に行くまでに、今年度より新しく追加したプログラムがあります。但馬牧場公園での但馬牛の飼育体験です。但馬牛は日本に最初に入った牛とされ、公園に併設する博物館では但馬牛の歴史を学ぶことができました。ちなみに牧場公園は繁殖農家に位置付き、競りを経て肥育農家で飼育され、その後、食肉加工され、消費者の食卓へと届くのです。5年生では2学期の生き活きタイム（総合的な学習の時間）で食肉-皮革の学習をします。その体験的知識を習得する機会として導入しました。子どもたちはブラッシング体験を通じて牛の命を感じることができました。

活動場所をハチ高原（宿泊先やまなみ）に移し、アマゴつかみ体験、ツリークライミング、そして登山などハチ高原ならではの自然体験を経験しました。どの活動にも、子どもたちの笑顔がいっぱいでした。また飯盒炊飯は、まさに「協力」が発揮された活動でした。

11日夜のキャンプファイヤーを通じて友だちと過ごす時間の楽しさや大切さを感じとった子どもたち。自然学校という「まるごと直接体験」が、今年も子どもたちの心を成長させてくれたと実感できました。



全国学力学習状況調査結果を分析して

4月17日に実施した学力学習状況調査（国語、算数、理科の教科学力調査と学習・生活状況の質問紙調査）の結果分析をしました。教科学力については、国語は国平均と同等、算数と理科は少し下回っている状況でした。正しい根拠を選択したり、自分の考えを記述したりすることには、体験的な学習をもとに自分の考えをもつことが重要となります。本校の学校教育目標に示す3つの「T（対話・体験を軸に探究すること）」を重視することは、改善策にふさわしい学習活動です。2学期からも、引き続き以下のことに力を入れたいと思います。

I 「なぜ」、「どうして」といった知的好奇心が働く問いかけをしながら、学習を展開すること

II 生き活きタイム（総合的な学習の時間）のような体験的で体系的な探究的な学習に力を入れること

学習・生活状況の質問紙調査では、「自分には良いところがあると思うこと」「将来の夢や目標をもっていること」、「学校に行くのが楽しい」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」といった項目が国平均を大きく上回っていました。国が重視するウェルビーイングに関わる項目が高いことは、とても素晴らしいことです。今後も維持できるように努めます。一方で、国平均を下回った項目は、「家庭学習の時間」、「タブレット端末の利用」、「問題解決的な力の育成」などでした。「家庭学習の時間」は量より質を重視しながら子どもたちに必要な力が身に付くように工夫します。また、日常の学習と関わる「タブレット端末の利用」や「問題解決的な力の育成」については、上記のIやIIとの親和性が高いことから、授業改善に取り組むことで、改善を目指します。

動物愛護教室(1年 9月17日)

9月17日、兵庫県動物愛護センター龍野支所の先生をお招きして動物愛護教室を行いました。1年生は動物の心音当てクイズや世話の仕方のまがい探しなどを通じて動物の命への関心を高めました。



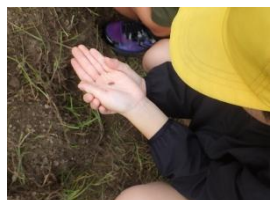
校外学習(1年 9月22日)

9月22日、1年生は姫路セントラルパークでの校外学習でした。動物愛護教室で学んだことをもとに、実際に動物を見たりふれ合ったりする体験学習です。自然界に近い環境で動物たちはどんな生活をしているのかを探ったり、動物とのふれあいを通じて動物の気持ちになって考えたりする良い機会となりました。



環境学習(4年 9月24日)

4年生は、1学期より地域の先生(生駒先生)のお力によって、EM菌を利活用した環境学習を継続しています。2学期は西門東側の雑草地を畑にして、大根栽培に取り組みます。



24日はその種まきをしました。手のひらの3粒の大根の種を見た子どもから、「栗みたい」というつぶやきが聞こえました。色と形に注目したようです。



仕上げは草マルチでした。環境を第一に考えた方法です。大根栽培を通じて環境について学んでいきます。

10月のおもな予定 再掲載

10月 1日(水) 全校朝会
10月 2日(木) 代表委員会 クラブ活動
10月 3日(金) ☆定時退勤日
10月 6日(月) 海に学ぶ体験事業(4年2組)
10月9、10日(木、金) 修学旅行(6年)
10月16日(木) 海に学ぶ体験事業(4年1組)
10月17日(金) 移動図書館 ☆定時退勤日
10月21日(火) 子ども音楽会(5時間授業)
10月24日(金) 音楽学習発表会 ☆定時退勤日
10月27日(月) 食肉出前講座(5年)
10月28日(火) 雅楽鑑賞(4、5、6年)
揖保川地区小小交流(5年)
10月30日(木) 委員会活動
10月31日(金) ☆定時退勤日

危険木に認定され 完全伐採しました

本校がこの場所に移転してきた当時から正門で子どもたちを見守ってきた合歓の木が数年前から枯れはじめました。夏休みに専門家に確認していただいたところ、



表皮の一部で大きな枝を支え、いつ折れてもおかしくない危険木であると認定されました(左写真)。延命治療もできない状況であることから市教委と相談し、連合自治会の許可も得て、9月13日に完全伐採しました。

伐採作業時、大木にできた空洞にスズメバチが大きな巣をつくっていたことが分かり、これまで子どもたちへの被害が無く本当によかったです(右写真)。ご報告させていただきます。(作業記録は校長室前の掲示板にあります。)



【戦後 80 年】「あの日を語り継ぐ ～あの日の学校 子どもたち～」から見えたこと

8月16日(土)に、龍野歴史文化資料館で上記のテーマでミュージアムトークが開催されました。当日は12歳(小6)から87歳の方が参加されました。私は進行を任されていました。その準備をする際に、昭和16年度(神戸国民学校になった年)から昭和20年度(終戦)の本校がどんな様子であったかを学校の残る記録から探りました。奉安殿の建設や鍛錬行事として越部村まで炭材を運んでいたことなど国民学校下での様子が分かりました。

関心をもったことは、戦後まもなくの昭和25年度から子ども主体の授業づくりに取り組んでいたことです。時代をリードする授業研究に触れ、その思いが現在の校風(子ども中心)まで受け継がれていることを実感しました。